

第38回サマースクール 化石キャンプ

2025年8月11日(月)～12日(火) 天気:晴れ☀

■参加者数:21名 ■会場:石狩望来浜、黒松内町添別川の地層、
■スタッフ:中村隆(りゅうりゅう)、青野咲良(さくら)、眞田琉美(るみ)
森川藍幾(あにき)、廣部礼菜(れな)、成田寿明(とっしー)



- 教育テーマ:①川の生き物と遊び、生き物を大切にすることを育む。
②地形の成り立ちを学び、地球やその生き物の歴史を学び、地球環境保護の心を育む。
③川で楽しい思い出を作ることにより、川の豊かさを守る活動につなげる。

主な行程

- 8月11日午前:仲間づくりゲーム、添別川で貝化石採取、川遊び
8月11日午後:午前の続き、川の生き物さがし、温泉入浴
8月12日午前:貝化石標本づくり、鉱物採集、キャンプのまとめ

添別川で化石を採集しました!!

☆地形の成り立ちを学び、貝化石の採集から歴史を感じました。

☆約百万年前は海だった場所で、貝化石を採集しました。においは・・・「昔の海のおいしかった!」



どんな地層??

黒松内町の地層は瀬棚層からできています。瀬棚層は、今から約120～60万年前、今金、八雲、黒松内周辺が海だったところに海底につもった地層です。地層の多くは、租礫(米粒大の細かい石)や砂、コキナ(片栗粉のようなきめの細かい泥)などからできていて、軽石をふくむ地域もあります。

約46億年の地球の歴史からすると、“およそ100万年前”とはつい最近のことです。現在、瀬棚層の上には別の地層が重なっていますが、その層は厚くないのであまり重くありません。というわけで、瀬棚層は上から強く押しつぶされていないため、岩のように固くならず、釘やドライバーで化石を掘ることができるのです。

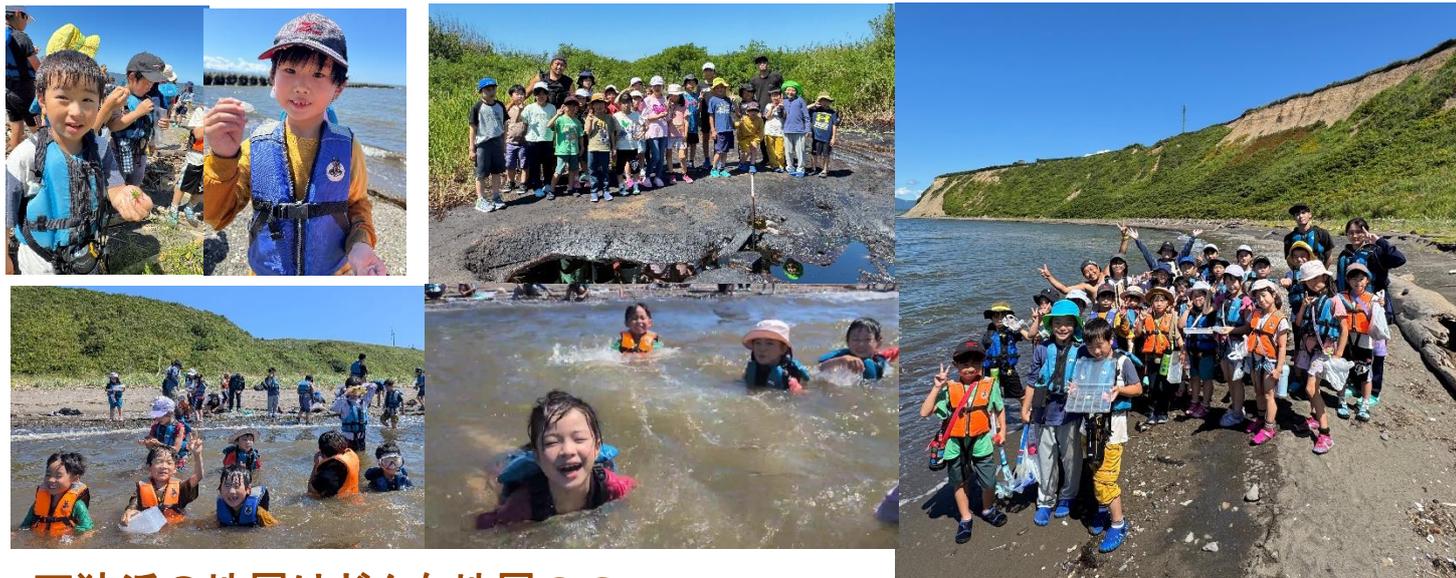
添別川で採集した貝化石たち

- ホタテガイ ■エゾキンチャクガイ ■エゾタマキガイ ■エゾサンショウガイ
■ダイシャカニシキガイ ■オーロラニシキガイ
■アズマニシキガイ ■エゾワスレガイ ■エゾイガイ ■カシパンウニ
■コケムシ ■ニセサンゴ ■ウチムラサキガイ ■ツキガイモドキ 他

石狩望来浜で鉱物やキレイな漂着物を採集しました！！

☆厚田油田跡を見学して、油の染み出しているところとポコポコ吹き出しているところを見学しました。

☆キレイな石や鉱物を探したり、穿孔貝などの貝化石を採集しました。



石狩浜の地層はどんな地層??

石狩浜にある地層はほとんどが泥岩と頁岩(けつがん、うすくはがれるように割れる性質を持つ泥岩の一種)からなる、望来層と呼ばれる地層です。望来層は新生代新第三紀後期中新世(ちゅうしんせい、800万年前～650万年前)の地層で、堆積年代は910万年前～760万年前と考えられています。望来層の中には、ノジュール(直径10cm～3mほどの球状の硬い団塊)がたくさん見られ、その中から巻貝や二枚貝など色々な化石が産出します。

石狩油田では、プランクトンなど生物の死骸が酸欠の海底に堆積し、高温・高圧下で石油の源となる「根源岩」を形成しました。この根源岩から生成された石油は、スポンジのように石油を吸収する「貯留岩」と、石油を閉じ込める「帽岩」の3層構造により集められ、地下に油田を形成したと考えられています。

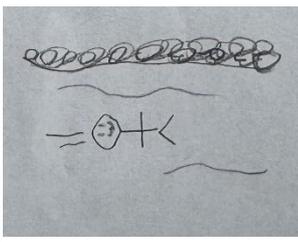
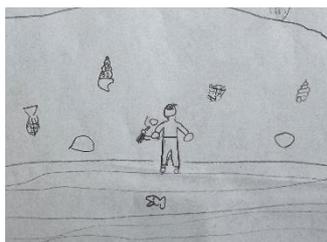
【石狩浜で採集した貝化石とキレイな石(鉱物)】

キレイな石(鉱物)・・・石英、玉髄、瑪瑙、チャート他

思い出と参加者の声



- ★石にも名前があると知りました。
- ★初めて化石をほって楽しかった。
- ★化石をキレイなまま取り出すのが難しかった。
- ★キレイな石を拾うのが楽しかった。
- ★友達と一緒に化石を掘ったのが楽しかった。
- ★川の生き物にたくさん出会えて楽しかった。



【食事MENU】

8月11日夕食：チャーハン、焼き餃子、焼きそば、わかめと卵のスープ、ジュース

8月12日朝食：ご飯、納豆、ふりかけ、ウインナー、チキンナゲット、ブロッコリー、野菜の味噌汁、バナナ

8月12日昼食：からあげ弁当